



NTT労働組合退職者の会
高知県支部協議会



2024年10月1日 第103号 特集号

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会
第26回総会議案書
会長 弘田 和幸

〒780-0841 高知市帯屋町2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-824-9530
URL http://nttobkochi.sakura.ne.jp/
E-mail taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp

NTT労働組合退職者の会高知県支部協議会 第26回総会議案書 (案)

告 示

NTT労組退職者の会高知県支部協議会第26回総会を下記のとおり開催します。

記

1. と き 2024年10月25日 (金) 午後2時～
2. と ころ 高知・三翠園ホテル
高知市鷹匠町1-3-35 (TEL: 088-822-0131)
3. 議 題
 1. 2023年度活動報告並びに2024年度活動方針(案)
 2. 2023年度一般会計決算報告並びに2024年度一般会計予算(案)
2023年度福社会計決算報告並びに2024年度福社会計予算(案)
2023年度慶弔会計決算報告並びに2024年度慶弔会計予算(案)
 3. 2023年度会計監査報告
 4. その他

以上

2024年10月1日

総会会場略図



NTT労組高知県グループ連絡会
会長 坂本 寛

NTT労組退職者の会高知県支部協議会
会長 弘田 和幸

※会場設営の都合上、
返信用ハガキ(切手不要)に
「総会への出欠」と
「懇親会への出欠」を表示し、
10月15日(火)までに
ご返送願います。

このように自然災害が続く中、安否確認等に「少しでもお役に立てれば」との思いで取り組みを行った

支部協議会として、仲間への悲報に対し、哀悼の意を表すとともに、義援金として十数万円の支出を行いました。

3. 一方、環境面では、世界の至るところで大規模自然災害が頻発しており、命や大切な財産を容赦なく奪っています。

3. 一方、環境面では、世界の至るところで大規模自然災害が頻発しており、命や大切な財産を容赦なく奪っています。

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀

みんなと共に!!

第1号議案

二〇二三年度活動の経過並びに二〇二四年度活動方針(案)

はじめに

1. 世界規模での貧困や格差、環境汚染は、止まることを知らず、経済をはじめ社会的に大きな影響を及ぼし続けています。

また、ロシアのウクライナへの侵攻から二年が経過しましたが、収束する気配はありません。世界各地での紛争は絶えず、多くの尊い命が犠牲になっていきます。国内では、沖縄に象徴されるように「基地の整理・

2. 国内政治に目を向けると長期政権のおごりと言われ、でも仕方のない「裏金事件」。この未曾有の不祥事に対する内閣のトップを

縮小」「日米地位協定の改定」は進まず、地域住民は不安な毎日を送っています。戦後八十年を迎える中で恒久平和の道のりは、まだまだ遠いものとなっています。

司る岸田首相の姿勢。お決まりの「政治と金」の問題に対し国民の憤りは極みに達しています。八月中旬の岸田首相の退陣表明については「このままでは選挙が聞えない」との党内優先論理であり、これまでの歴史のなかでも繰り返されてきたものです。政治空白が生まれるとともに、国民不在を危惧します。

募集中 紅葉の奥出雲周遊 NTT高知OB旅行

- ◆ NTT労組退職者の会 (月曜～金曜の午前10時～午後3時)
電話：088-821-3800 FAX：088-824-9530
e-mail：taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp
- ◆ 高知電友会事務局 (月曜～金曜の午後1時～午後4時)
電話：088-804-0566 FAX：088-885-2080
e-mail：denyukai2@royal.ocn.ne.jp

お申込みお問い合わせ

緊急連絡先調査については、常任幹事・幹事全体で訪問活動やお元氣コール等を行い、県下全域で会員の皆さんとの連携に努めてきました。

4. 現・退一致の取り組みでは、三世代が連携して高知で行われた「旬感クッキング」や、全国一斉環境統一活動、恒久平和を願う折り鶴活動等に積極的に参加し、その一翼を担いました。引き続き現・退一致の運動の推進を図ります。

5. 四年間の「コロナ禍」のなか、会の活動は大きく制限され、活動の原点である「参加・参画」に大きな影響を与え「対面で集まる」活動がほぼできない状況でした。また、私たち高知県支部

協の状況も高齢化が進みつつありますが、昨秋より地域での集まりや、親睦旅行、講演会等、徐々に活動をスタートさせています。

「新型コロナウイルス」は五類感染症に移行しましたが、罹患者も多く、まだまだ予断を許すことはできません。今後も、注意を払いながら「連絡を取り合うこと」や「集まることの大切さ」を考え、活動の再構築を図ることが必要です。

6. 課題は山積するものの「ゆとり、豊かさ、社会的公正」「誰もが安心して暮らせる社会」を目指し、会員相互のコミュニケーションの充実はもちろん「現・退一致の運動の推進」を図り、活動を進めていきます。

活動の重点課題

1. 「明るく」「楽しく」「健康に」をモットーに参加・参画で、会員相互の交流を図り、より親しまれる会を目指します。

2. 現・退一致の活動の推進を基本に、組織内や地域の活動に参加し「誰もが安心して暮らせる社会」を目指します。

3. 医療や介護、年金等、社会保障制度の充実が「より暮

取り組みの経過と今後の対応について

一、組織活動について

(1) 1 会員拡大のとりくみ
九月三十日現在の支部協の会員数は〇〇〇名となっ

ており、昨年より〇〇名の減となっています。現職退職者の減少が顕著になっているなか、緊急かつ大きな課題としてとらえる必要があります。

(3) 遺族組合員制度については、故人会員の配偶者において「二代限り」で、電通生協などの継続利用を可能とした制度です。制度の利用は、現在八十五名となっており、家族の生活保障の支えと

なっています。事務局体制については、昨年十一月から事務所の開設時間を平日(年末年始、GW、お盆、支部協開催会議日を除く)十時から十五時とし、常任幹事の常駐体制で運営してきました。主な内容については、共済の問い合わせや訃報連絡、住所変更、法律相談等でした。

3 「地域の集い」の開催について
コロナ禍のなかで、開催することができなかった旧電話局単位や地域での集いについては、徐々に再開し、会員相互の交流を深めてきました。「集まることの大切さ、嬉しさ」を考え、創意工夫のなか、引き続き充実していくことが重要です。

4 NTTOB親睦旅行・文化講演会について
コロナ禍のなか、開催することができなかった電友会との共催である二つの恒例行事については、新型コロナウイルスの昨年五月の「五類感染症」移行を受け、両会で論議を重ね実施することとしました。

(1) 親睦旅行について
四年ぶりに開催した親睦旅行は「もっと知ろう四国」ということで昨年十一月十日～十一日の一泊二日で開催しました。コロナが五類に移行したとはいえ、まだまだ罹患者が多いことやこれまでの参加者の高齢化等により、参加を見合わせる方が多かったものの、参加者からは「やっぱりOBの集いは最高」の声

高知県支部協 2023年度 主な活動日誌 (第25回退職者の会総会以降)

年	月	日	主な活動	場所
2022	10	10	2022年度会計監査	事務局
		24	NTT労組退職者の会高知県支部協第25回総会	三翠園
		30	2023年度第1回編集委員会	事務局
	11	2	2023年度第1回常任幹事会	中局食堂
		8	第31回高退連定期総会	高知会館
		10~11	NTT高知OB親睦旅行	伊予灘、しまなみ海道
		27	第1回緊急連絡体制対策会議	事務局
	12	5~6	第1回拡大支部協代表者会	ホテルベルクラシック東京
		8	車椅子清掃ボランティア	やすらぎの家
		12	車椅子清掃ボランティア	あざみの里
12		2023年度第1回幹事会	三翠園	
27		通信100号発送	事務局	
2023	1	10	2023年度第2回常任幹事会	中局食堂
		24	ウェルカム懇親会	NTT中ビル5F
		30	2023年度第2回編集委員会	事務局
	2	7	NTT労組四国総支部委員会	四国ろうきん松山ビル
		19	第2回緊急連絡体制対策会議	事務局
	3	26	医療・介護学習会(リモート)	事務局
		7~9	中四国ブロック会議(共済研修会)	山口県湯田温泉
		28	通信101号発送	事務局
	4	30	高知西地区等交流会	針木浄水場桜の段
		8	2023年度第3回編集委員会	事務局
17		2023年度第2回幹事会	サンライズホテル	
20		安芸OB会	コミュニティーセンタ	
25		第13回西部地区メーデー	赤鉄橋下河川敷	
2024	2	25	第18回東部地区メーデー	物部川河川敷
		29	第95回メーデー高知県中央大会	城西公園
		8	2020年度第3回編集委員会	事務局
	5	14~15	ジェンダー平等フォーラム	東京グリーンパレス
		18	情報労連環境統一行動	野市あじさい街道
		20~21	第24回四国連携委員会	土佐龍温泉 三陽荘
	6	29~30	第2回拡大支部協代表者会	ホテルベルクラシック東京
		18	2023年度第3回常任幹事会	経協室
		21	シンボルロード花植替えボランティア	高知市
		27~28	全国交流集会	東京 両国第一ホテル
28		通信102号発送	事務局	
7		4	第1回引越し準備プロジェクト	事務局
		5	第46回NTT労組四国総支部委員会	四国ろうきん松山ビル
	6	あじさい剪定ボランティア	野市あじさい街道	
	11	第2回引越し準備プロジェクト	事務局	
	16	第3回引越し準備プロジェクト(本番)	事務局	
8	17	第4回引越し準備プロジェクト	事務局	
	26	第23回NTT労組四国総支部定期大会	四国ろうきん松山ビル	
	31	2023年度第4回編集委員会	事務局	
	3	第6回情報労連四国ブロック定期大会	四国ろうきん松山ビル	
9	26	2023年度4回常任幹事会	NTT中ビル食堂	
	29	南ブロックOB会	スポーツパレス春野	
	3	2023年度第3回幹事会	高知ろうきんビル	
	10	NTT労組高知分会第10回定期大会	三翠園	
	25	第26回全国総会(大阪)	アートホテル大阪ベイタワー	
27	情報労連高知県協第23回定期総会	三翠園		

お孫さん大喜びのイベントも!!

お菓子投げ



選手からお菓子を
受け取ろう!

親子サッカー教室



10時~11時(9時45分集合)
場所:春野陸上競技場
対象:年中~小学6年生(お子様)
詳細は別途、ご案内いたします

スペシャルゲスト
元なでしこJAPAN
鮫島彩さん



観戦希望者にチケットお渡しします 受付 10月10日(木)まで

公式サイト  クラウド公式SNS  X エックス  インスタグラム  LINE ライン 

も聞かれ、楽しい二日間となりました。今年度は「紅葉の奥出雲周遊」を計画しています。

(2) 文化講演会について

昨年十二月六日、三翠園ホテルで六十名が参加し「NTTでの仕事とオリ姫との出会いから現在の活動」のテーマで、高知県出身の元NTT研究所主任「別役聡子氏」を講師に迎え、開催しました。米とミカンを栽培している実体験や分身ロボット「online」との出会いで社会の人たちを支えていく重要性を痛感し、少しでも役に立てばとの思いで活動していること等が述べられ、有意義な時間を過ごしました。

今年度は、十二月十六日（三翠園）に年末を奏でる「高知コーラス合唱団」を予定しています。

5 各種会議への参加

(1) 中央協が開催する諮問的な位置付けである拡大支部協代表者会議（二回）、ブロック会議（一回）に参加し、年間活動の進め方、各支部協での取り組みや課題、共済活動の現状や変更点、加入促進活動について意見交換を行い、認識を合わせました。

(2) 新たな試みとして中央協主催で開催された「ジェンダー平等推進フォーラム」に吉川（都）、吉良、現職から前田事務局次長が参加し、全国の仲間一八十名と支部協女性活動の現状と課題を共有しました。そのなかで依然として後進にある政治、経済等の世界に

おける日本のジェンダーギャップ指数の現状と改善に向けた対応等について学び、今後、各支部協での活動に活かしていくことを確認しました。

(3) 新たに役員となった方を中心に行われる中央協主催の全国交流集会には、松田常任幹事、野本幹事の二名が参加し、全国の仲間と支部協の活動状況を中心に意見交換を行い、今後の活動へのステップとなりました。

(4) ブロック内での活動の交流や発展を図る四国地方連携委員会については、四国の退職者と現役グループ連絡会議の構成で、年一回開催しています。

今年度は、高知県支部協が当番幹事であり、高知県退職者連合副会長の山中千枝子氏を招き「ジェンダー平等学習会」を開催し「社会的、歴史的、文化的に形成された性差」であるジェンダーについて、面白おかしく学びました。また「緊急連絡先調査」や各県での特徴的な取り組み、来年の参議院選挙等について意見交換を行いました。

二、情宣活動について

1. 「通信の発行」について
高知県支部協議会会員相互のパイプ役である「通信」は、年四回発行を行っています。二〇二四年一月一日号で記念すべき一〇〇号を迎えました。
会員の皆さんの投稿等により、引き続き、親しまれる

紙面に努めます。

2. NTT労組新聞への投稿については、会員の協力を得ながら投稿し、観光需要の高まっている「故郷高知県」や、支部協の活動を紹介してきました。

3. ホームページについては、会員の皆さんの要望を聞きながら、その都度更新を行っています。より多くの皆さんのアクセスを期待しています。

三、危機管理の取り組み

近年のように大規模自然災害が、全国各地で頻繁に起こるなか、いざという時の「会員の皆さんの安否確認、被災状況の把握」に少しでも支援できればとの思いで、中央協全国総会の確認に基づき、電通共済と連携をはかり、「緊急連絡先調査票」の取り組みを行いました。

六月三十日現在の集約数は、八九五件となっております。いつ来てもおかしくない「南海トラフ」地震問題を抱える高知県支部協としては、「少しでも会員の皆さんの役に立ちたい」との考えで、取り組みを続けます。会員の皆さんの一層のご協力をお願いします。

四、現・退一致の運動の推進

組織内外を問わず、地域や社会で「誰もが安心して暮らせる社会」の実現を目指すためには、現・退一致の運動が不可欠です。環境や地域貢献、政治等、なお一層の現・退一致の運動の推進を図ります。

高知で開催された全国キャラバンである「旬感クッキング」や情報労連高知県協議会主催の「環境統一行動」では三世代が集い、支部協として積極的に参加してきました。

また、メーデーや各種集会、講演会、政治活動にも積極的に参加・参画し、その一翼を担いました。

活動の推進に向け、引き続き取り組みの強化を図ります。

五、友誼団体への対応と社会貢献活動について

1. 高知県退職者連合には会長として國弘顧問、幹事に吉川副会長を派遣し、中核的な役割を果たしてきました。

また、レク行事であるボウリング大会には三チームが参加し、女性チーム（曾我・山本・中村）が三位に入賞しました。

2. 幡多ライフサポートセンターや中央東ライフサポートセンターと協力しつつ、地域活動やレク活動に参加し、親睦を深めます。

3. 連合高知、高知県労働者福祉協議会の活動は「現・退一致の運動の推進」の観点から積極的に参加してきました。引き続き、取り組みの強化を図ります。

4. ジェンダー平等推進活動や、SDGsの活動については、主体的な参加・参画が必要であり、現役や友誼団体との連携はもとより、支部協内での議論を深めます。

5. 社会福祉活動については「NTT-OBボランティアの会」と連携し、①帯屋町シンボルロードの花植え

②車イス清掃③アジサイの剪定作業に取り組みました。また、情報労連高知県協議会環境統一行動に参加し、アジサイの下草刈りに取り組みました。

地域活動の一環として、引き続き取り組みます。

6. 法律相談活動は会員と家族の法律活動として会員の皆さんに利用され「藤原充子弁護士」にお世話をお願いしました。

法律相談の利用にあたっては、事前に事務局に連絡をお願いいたします。

六、「ゆとり・豊かさ・社会的公正」をめざす政治活動について

1. 政治は、私たちの暮らしや地域社会に大きな影響を与えることを意識し、現・退一致で取り組みを進めてきました。昨年の選挙イヤー後半の取り組みも「通信」での周知や「お元氣ですか」コールを行い、推薦候補の必勝に向け、取り組みました。

2. 現職国会議員の秘書暴行問題に端を発した参議院議員徳島・高知選挙区補欠選挙は、昨年十月五日告示、同二十一日投開票で行われ、私たちの推薦する広田はじめ候補（無所属元）は、「自民一強政治に風穴を開け、政治への信頼を取り戻す」即戦力等を訴え、堂々の当選を果たしました。

3. 任期満了に伴う高知市長選挙は、昨年十一月十九日告示、同二十六日投開票で行われ、私たちの推薦する岡崎せいや候補（無所属現）は、国政の構図となった選

NTT西日本高知支店 協賛

JFL 第25節

高知ユナイテッドSC

VS

沖縄SV



集まれ1万人! みんなの力で高知にJを!!

10月20日 13:00 試合開始

高知県立春野総合運動公園 陸上競技場

お問い合わせ先

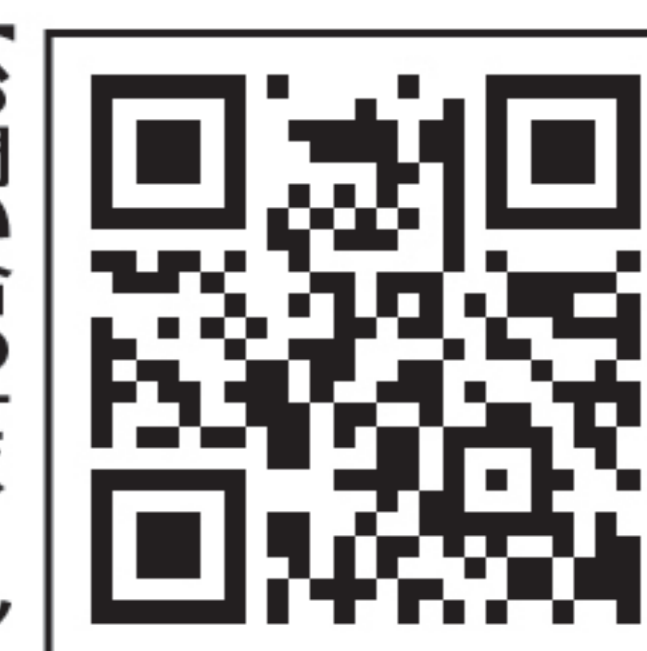
NTTビジネスソリューションズ 高知ビジネス営業部事業推進担当

岡内・芝 TEL: 088-802-7152

e-mail: kochi.jisuikikaku@west.ntt.co.jp

※右記、二次元コードからも送信できます

お問い合わせメール



チケットのお申込



挙戦で「豊かで勢いのある県都を」「市政の総仕上げを」等を訴え、奮闘したものの二千票差(得票率四十九%)で惜敗しました。

なお、ダブル選挙で行われた高知県知事選挙は、退職者の会として自主投票となりました。

4. その他の推薦候補の闘いは次のとおりです。

5. 選挙イヤー後半の闘いでも投票率の低さが目につきました。「社会への参加、意思表示」は、大切なことであり、自らが「投票に行く」

ことはもちろん、引き続き周りの人たちにアプローチしていく必要があります。

6. 解散・総選挙の闘いには、「これまで幾度も繰り返されてきた」金権腐敗や課題の先送り、党内の主権争い等、長期政権のおごりを打ち破るためにも武内則男候補の必勝に向け、全力を尽くします。

7. 来夏に公示される第二十七回参議院議員選挙では、組織内候補「吉川さおり」の必勝に向け、現・退一致で取り組みの強化を図ります。あわせて選挙区選挙では、推せん候補の必勝に向け取り組みます。

また、投票率の向上を図るため、家族、友人、知人等

六月二十七、二十八日に退職者の会全国交流集会が東京第一ホテル両国で行われ、全国の県支部協・地区協から九十六名(内女性二十四名)の会員が集まり参加してきました。

初めに主催者を代表して、中央協・森嶋会長から、能登半島地震の被災者支援カンパ、緊急連絡先登録、退職者の会会員加入促進等について話され、その後「全国での会員数は十二・五万人であるが、会員数の減少傾向と高齢化が各支部の抱えている問題だと思ふ。女性の参画推進についても、課題・意見を出し合って共有して欲しい」と挨拶がありました。

各支部協の課題を共有 全国交流集会に参加して

最後に「中北浩爾 中央大学法学部教授」の講話「日本政治の現在と野党の役割」では、日本政治の変遷や自民党一強の分析について話され、充実した貴重な内容でした。

二日目は六分散会で「会と会員のコミュニケーション」をテーマに意見交換。前日の懇親会で分散会のメンバーが同じテーブルで談笑していたこともあり、和やかな雰囲気の中、各支部協の取組状況・課題等を共有し各支部協に持ち帰ることができました。

〈幹事 野本泰司〉

七、共済・福祉活動について

1. 会員の皆さんに感謝の意を込めた「ありがとう制度」(中央協)と「慶弔規程」(高

2023年9月1日から2024年8月31日までの実施状況一覧(年齢は満)

中央協「ありがとう」制度		高知支部協「慶弔規程」					
古希(70歳)	喜寿(77歳)	米寿(88歳)	本人死亡	金婚(50年)	白寿(99歳)	本人死亡	配偶者死亡
5千円(ギフトカード)	8千円(ギフトカード)	5千円(ギフトカード)	5千円	5千円	1万円	5千円	5千円
41件	66件	32件	35件	32件	2件	34件	16件

※「本人死亡」の件数について、中央協と支部協との差異1件は、前年度繰越件数が含まれているもの

に「投票に行こう」を呼びかけます。

知支部協)が実施されました。

具体的な高知県支部協対象は「別表」とおりとなっています。なお、高知県支部協の弔事については、ご家族の連絡や地域幹事の把握をもとに、該当地域幹事

等が弔意を表すこととしています。

しかし、把握が遅れることにより、事後対応のケースがでてきます。会員の皆さん並びにご家族の皆さんからの地域幹事、支部協事務局(821-3800)への一報協力をお願いします。

2. 電通共済生協は、退職者の会員の相互扶助活動として取り組んできました。生協事業は、会員の生活を守るために、もしもの備えとして運用されており、会員にとっては自然災害交通事故・病気などに対応する共済として必要なものです。「備えは丈夫ですか?」と訴え、加入の促進を図ってきました。

共済関係の会員間い合わせについては、生協支部(N

TT労組四国総支部)と連携して対応にあたってきました。

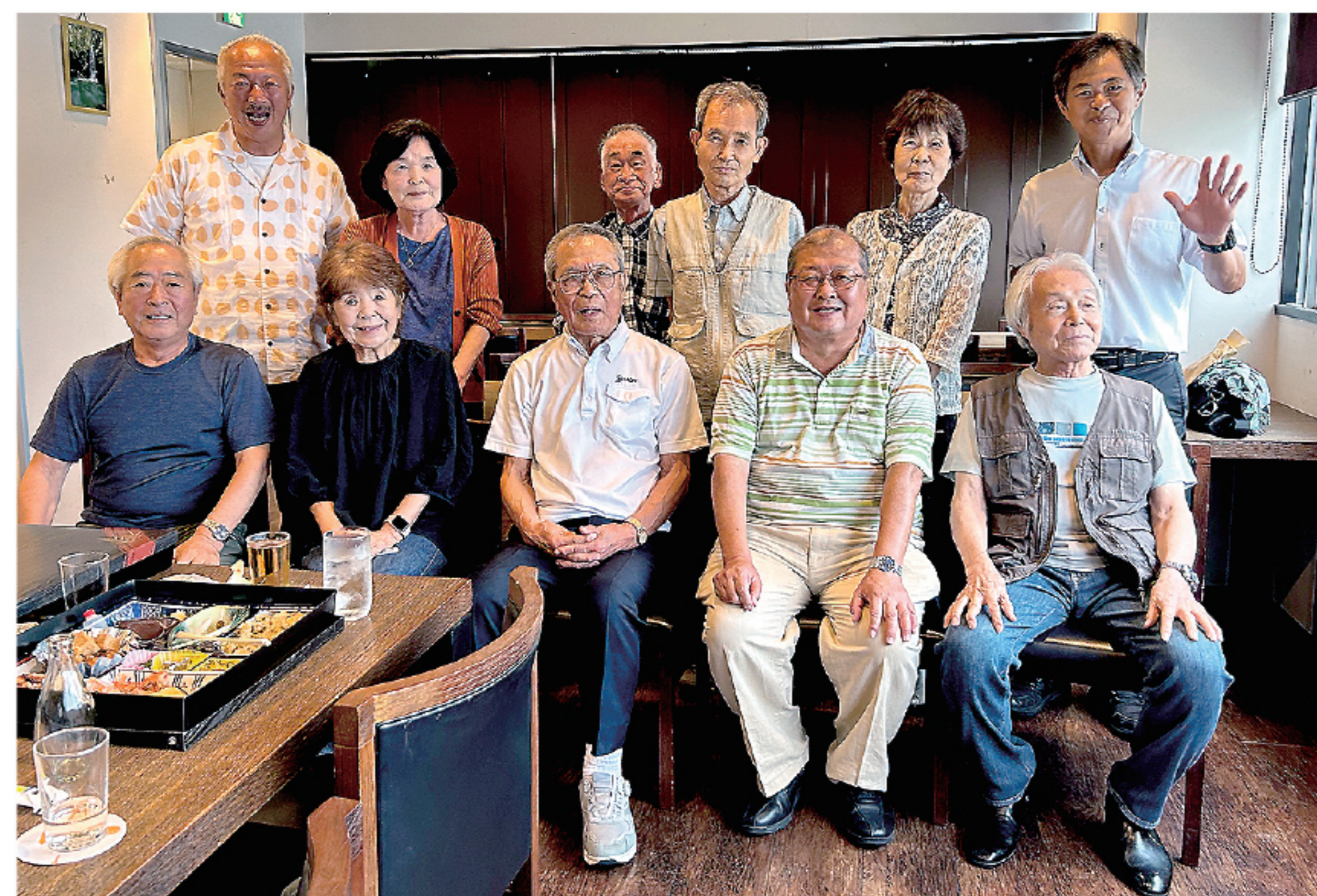
第2号議案・他 二〇二三年年度決算報告並びに 二〇二四年度予算(案)他

- 第二号議案(当日配布)
- 二〇二三年度一般会計 決算報告ならびに二〇二四年度一般会計予算(案)
 - 二〇二三年度福祉会計 決算報告ならびに二〇二四年度福祉会計予算(案)
 - 二〇二三年度慶弔会計 決算報告ならびに二〇二四年度慶弔会計予算(案)
 - 二〇二三年度一般会計 監査報告
 - 二〇二三年度福祉会計 監査報告
 - 二〇二三年度慶弔会計 監査報告
- 第三号議案(当日配布)
- 他団体への役員派遣の件について(案)



高知南地区 地域の集い開催される

八月二十九日春野スポーツパレスにおいて、台風が押し迫る中での実施となりました。参加者十名(男性六名・女



性四名)来賓は間嶋事務局長・NTT高知分会前田副分会長・楠目市会議員を迎え、田岡章さんの開催挨拶・来賓挨拶を受け大西脩子さんの乾杯の音頭で昼食会兼懇親会がはじまり、十月二十日の高知ユナイテッドのチケットについて「NTT関連以外の友人でも応募できるが?」「まったく問題ない」などからはじまり痴呆や・病気の話などお酒が進むとともに話は絶好調、予定の二時間が足りないくらい盛り上がりしました。

地域の集いもコロナ禍により、つながりも希薄化するなか、今後においても地域の会員同士が気軽に無理なく集える交流の場でありたいと思われました。(副会長 関田啓二)

共済等支払状況



ありがとう制度

(2024年6月～8月)

お祝い
☆米寿(8件)

7月	6月	8月	7月	6月
横田 矢	深田 哲	岡田 賢	植田 耕	岡村 憲
美悦 子	村悦 子	美悦 子	村悦 子	村悦 子
幸子 様	幸子 様	幸子 様	幸子 様	幸子 様

☆古希(10件)

8月	7月	6月	8月	7月	6月
安川 村	戸上 直	井田 研	松岡 由	野島 尚	松崎 川
渡章 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡
渡章 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡	小川 渡

支部協慶弔制度

(2019年10月～2024年8月)

お祝い
☆白寿(1件)

6月	7月	8月	7月	6月
寺内 峯	岡林 泰	前田 紀	前田 紀	前田 紀
清俊 様	清俊 様	清俊 様	清俊 様	清俊 様
清俊 様	清俊 様	清俊 様	清俊 様	清俊 様

★本人死亡(10件)

2024年	2022年	2022年	2024年	2024年
3月	12月	12月	3月	3月
前田 紀	畦地 美	畦地 美	前田 紀	前田 紀
前田 紀	畦地 美	畦地 美	前田 紀	前田 紀

お祝い
☆金婚(2件)

6月	7月	8月	7月	6月
里見 清	山本 栄	山本 栄	山本 栄	山本 栄
山本 栄	山本 栄	山本 栄	山本 栄	山本 栄
山本 栄	山本 栄	山本 栄	山本 栄	山本 栄

★配偶者死亡(8件)

2024年	2024年	2024年	2024年	2024年
3月	3月	3月	3月	3月
杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣
杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣	杉本 宣

岩本 健一様
小松 隆志様

8月 川上 直保様
松本 美恵子様

おねがい

会員または配偶者がお亡くなりになったときは事務局へご一報をお願いします

☎821-3800

◇火災共済(3件) 42万8,900円
◇交通共済(1件) 6,400円

文化講演会

電友会と共催です。お誘い合せて、ご参加下さい。講演会終了後「電友会忘年会」が予定されています。

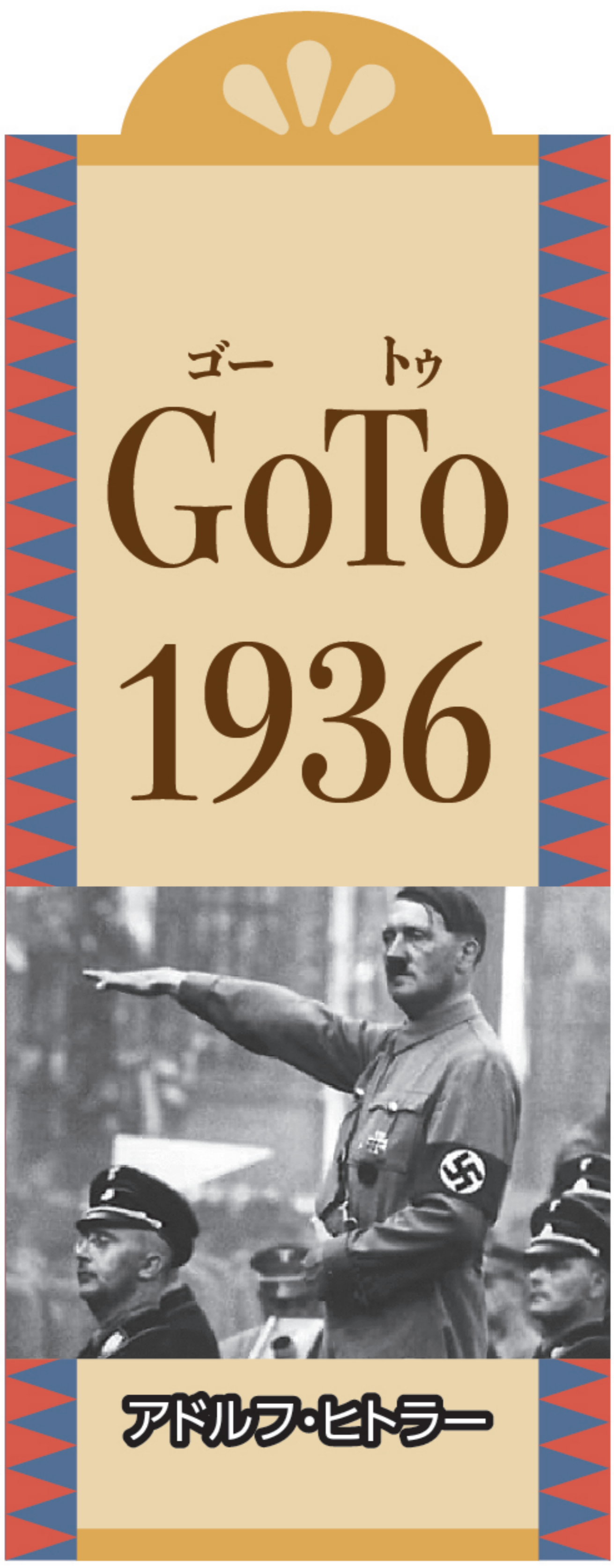
コーラスの夕べ 高知コーラス合唱団

日時 2024年12月16日(月) 15時～16時

場所 三翠園(高知市鷹匠町1-3-35)

- ◆ オープニング 僕らの道 団長挨拶 北村幹雄さん
- ◆ 第1部 宮崎駿 アニメ映画音楽の世界 いつも何度でも 地球儀
- ◆ 第2部 中島みゆき シンガーソングライターの世界 銀の龍の背に乗って 地上の星
- ◆ 第3部 高知で歌って70年 高知県民の歌 おいらの船は300トン よさこい鳴子踊り 南国土佐を後にして
- ◆ 第4部 みんなでうたいましょう 手のひらを太陽に
- ◆ 第5部 出逢いに感謝 いのちの歌 おんがく あの鐘を鳴らすのはあなた

アンコール



一九三六(昭和十一年)、ベルリンオリンピックが開催された。当時ドイツは再軍備を進め、非武装地帯のラインラントに進駐、ヒトラー政権は反ユダヤ主義を強めていた。これにアメリカ・フランス・イギリス国内で大会開催に対する抵抗が試みられたが、五十二カ国が大会参加を決定、皮肉にもヒトラーの第三帝国

を世界に宣伝するま たとな い機会となった。日本選手では、陸上競技では三段跳びで田島直人が一位、水泳競技で、女子二百メートル平泳ぎで前畑秀子が優勝した。



金婚さん いらっしやい

楽しいこと、悲しいこと...2人で乗り切った50年。新婚当時にはこんなことがありました。

ローテーションを開始 高知局の局内保全

懸案となっていた高知局局内保全の「複局地」問題は、団体交渉、職場協議を重ねた結果、公社が目的とした省力化方針を撤回させ、8名の要員増など組合要求をほぼ勝ち取り、7月複局地に、移行、現在の組織に整備された。

また、課相互の凸凹を均等化するため、ローテーションも実施されることになった。(高知県支部33年の歩みより)



人生いろいろ

初田 龍二
(室戸市)

この世に生を享けて令和六年七月七日に八十三歳になった。振り返れば長かったようでもあり、短かったようでもあった。京都で生まれて四歳の時、母の故郷室戸へ疎開してきた。

京都での思い出は全くなく、京都人だと思っただけで、一度もない。小学校へ入学してからは、運動神経が誰よりも良かったのか、教頭先生に連れられて、隣の学校へ競技をしによく行ったものである。

そのおかげで卒業式の日に一人だけ体育優秀の賞状ももらったことを覚えている。中学校は毎日軟式野球の練習に明け暮れたものだった。高校は野球部に入部したが、背が低いからと言われて、中学校のエースから遊撃手に回されたので退部した。ボールの遠



短歌・俳句

ありがとう 黒潮町 藤近 容子
客席に友の姿を認めたり心に届けと太鼓打ち打つ
樟の葉のそよげる音を聞きたくてまた歩み来ぬ公園の道
ありがとうをよく言う人の声やわし幼を寝かせているように言う

父と子と
父と子は「晚餐歌」なる剣舞舞うまっすぐ伸ばせる子の手気高し
和太鼓のリズムとる子ら声高し勇みてわれも「はい、もう一回」
白々と群がるスズランスイセンを姉は勤める摘みて帰れよ

鳩 四万十町 川上 理恵
ひたすらに平和憲法まもりくれし父母の時代の過ぎんとすらし
真つ白な産着に握り拳見すきみの未来に戦よあるな
手をたたき鳩追ふをさなよ知つてるかその鳥おほぞら高く飛べるを

俳句 高知市 山 姥
祝辞聞く二十五年の蛍の夜
暑き日や命日の娘にアイス菓子

会員投稿欄

所感・雑感



投力は誰にも負けなかったのに、投手失格の烙印を押されたことが納得できなかつた。今にして思えばなんと幼稚で馬鹿げたことをしたもんだと赤面の至りである。退部した後、担任でもあり、監督であった先生に「お前はそんなことを言っていたら、卒業して大

公社に入社して、妻を娶り、子供二人を儲けて、孫二人の家族を営んでいる。公社在勤中は良い上司、そして温かい同僚たちに可愛がられて、いい人生を送らせてもらった。ありがとう!!。
——*—*—*—*—*

生きていた戦死者

自分の墓にお参り

藤原 寿夫
(高知市)



最近、歳のせいかわ過去を振り返ることが、多くなりました。以前母が、フィリピンで戦死した叔父(母の実兄)が、戦後生きて帰って来た。その時に、高知新聞社が取材

ウイツデー

誌面で伝える あんなコト、こんなコト...

「後期高齢者」
ほんの少し前、70歳を迎えたと思ったら今年の後期高齢者。人生がこんなに早く終盤に近づくことを身に染みて実感しました。なお、9月には白内障の手術を受ける予定です。「目の前がはっきり見えるようになります。」との先生の言葉に希望を持って。
(須崎市 寺本和男)

「思い込み」
初めての幹事会の日の出来事です。高知までは車で約2時間、余裕をもって、3時間前に家を出ました。無事高知に着き、車を高知局の隣の駐車場に置き、退職者の会の事務所を訪ね、中にいた方に挨拶をし、椅子に座りましたが、誰も来ません。渡り廊下に出て外を眺めているうちに、部屋にいた方々が横を通り過ぎていきました。
不思議に思い、案内状を見ると会場は三翠園と書いてあります。懇親会が三翠園と思い込んでいたのです。車では時間がかかると思い、走ることに。他の方の歩くのと同じくらいですが、その時は必死でした。三翠園に着くと役員の方の案内で迷わず会場に入ることができました。ありがとうございました。思い込みの恥ずかしさと怖さを知った一日でした。
(室戸市 初田 幸)

「元気になれるお手伝い」
定期的に高齢の叔母宅で断捨離の手伝いをしています。タンスの処分・押入れの整理・庭の鉢類処分。先日は食器棚の整理。物が整理され片付いてくると家の中の風通しもよくなり空気が一変します。また、家事の動線を工夫することで、日常生活がしやすくなり、以前よりも元気になったような気がします。最近はずとりができたのか、玄関に一輪挿しを飾り、花を愛でる様子を見て私まで元気もらってます。
(香美市 上村順子)

「趣味」
何か趣味をと思ひ。月2回のフラワーアレンジメントのフラワーサークルに入会したのが7年前でした。1年目は初級で。あと中級、上級と上がっていきます。7年もアレンジを続けているのに腕前は初級のままで、自分のセンスのなさを痛感しています。
今、男性が入会し、一緒にアレンジをしています。パワーがあり、素敵なアレンジをしていて、いい刺激を受け、私も頑張らなければと思っています。
(佐川町 織田久美子)

に来て、自分の墓にお参りする姿を撮影したと話していた事を思い出しました。
当時の記事を読んでみると、高知新聞社に問い合わせ、紙面(昭和二十四年八月四日付)を取り寄せました。それによると、叔父は昭和二十年六月フィリピンセブ島で戦死。越知町の実家では、遺骨の無いまま葬儀を終え、卒塔婆を立てて冥福を祈っていた。ところが、昭和二十三年十月それまで終戦も知らずにジャングルに隠れていた叔父達は、米軍の勧告に応じ投降。その後六ヶ月間戦犯容疑で収容された後、翌昭和二十四年八月二日帰郷。家族達の嬉し泣きの出迎えを受けた。
叔父達は、昭和二十年四月夜襲に出た後、本隊を見失って六名が洞窟に隠れ、本隊に
戻れることを心待ちにしていたが叶わず。日本に反感を持った原住民の襲撃を恐れながら、夜洞窟を這い出て芋の華や葉、野生のショウガやバナナを集めた。食糧の次に困ったのは衣料で、針金で針を作り、バナナの繊維を糸に代用して繕った。
三ヶ年半の洞窟生活で三名が栄養失調で相次いで斃れ、自分も何度か空腹のため死を覚悟したが、父母の面影や故郷の山河が不思議と、生きよ生きよと力づけてくれたと語っています。
その叔父も今はもういません。終戦後四年も経って帰還し、その後どんな思いで生きて来たのか想像することがあります。

喜怒哀楽 第61回 木のいのち 木のこころ

テレビというかジャーナリズム総体の職業的な政治的機能(権力の監視)が劣化・委縮している様に思える。それ故か、これはと思う映像や記事に出会う機会は稀で口惜しい気分が日常となる。
そんな折、NHKの「新プロジェクトX」で①東京スカイツリー②薬師寺東塔全解体修理を視る機会を得た。
この番組を見ながら30年ほど前、法隆寺の昭和大修理を指揮した宮大工の西岡常一氏が『木のいのち木のこころ』を著し大きな話題を誘ったことを思い出した。いま手許に著作がないのであやふやな記憶に頼らざるを得ず不確実な話となるがご容赦願いたい。氏は著書の中で「木にはそれぞれ癖があるが癖は悪いものではない、使い方だ」と述べ、『年輪には育った場所の記憶が刻まれるので真逆の木を組み合わせれば強い構造となる』『木は年を経ると縮む、それを考慮し復元時の背高を決める』…等々至言に満ちていた。
尚、これらのことは『飛鳥時代の宮大工たちの作品の解体修理をする中で学ばされたこと、いまさらながら先人たちの知恵と工夫に頭が下がる』旨あった筈。蛇足ながら、スカイツリーの『芯柱』にも五重塔の解体修理の技術と伝統が引き継がれていると云う。驚愕すべきことであり、『後継者づくり』にまで至っては、只々敬意と感謝を申し上げるばかり。万雷の拍手で謝意を表したい。
(会長 弘田和幸)